【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公表番号】特表2007-522893(P2007-522893A)
【公表日】平成19年8月16日(2007.8.16)
【年通号数】公開・登録公報2007-031
【出願番号】特願2006-554311(P2006-554311)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　2/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　2/24

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月18日(2007.12.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の端部および第２の端部を備える半円形バンド部分を備え、小柱を通る挿入に適した内部乳頭形成術心臓補綴具であって：
該第１の端部がテザーの第１の部分を含み；
該第２の端部がテザーの第２の部分を含み、
１つ以上の連結部材が該半円形バンドを乳頭筋に連結し、ここで、該テザーの第１の部分および第２の部分が互いに固定され、調節可能な半円形のバンドを提供する、心臓補綴具。
【請求項２】
前記バンドが、管状である、請求項１に記載の心臓補綴具。
【請求項３】
前記バンドが、単一のロッドである、請求項１に記載の心臓補綴具。
【請求項４】
前記バンドが、ダクロン、テフロン（登録商標）、ポリウレタン、ナイロン、ポリエステル、シラスティック、ニチノール、ニチノールメッシュ、チタン、チタンメッシュ、心膜、肋膜、腹膜、硬膜、腱および動脈からなる群から選択される生体適合性材料である、請求項１に記載の心臓補綴具。
【請求項５】
前記バンドが、約１．５ミリメートルと約６ミリメートルとの間の断面を有する、請求項１に記載の心臓補綴具。
【請求項６】
前記可撓性の半円形バンド部分が、約５０ミリメートルと約１００ミリメートルとの間の長さを有する、請求項１に記載の心臓補綴具。
【請求項７】
前記テザーが、縫合糸、迅速連結物、圧迫帯、あおり止めかぎホック、クラスプ、ねじ、ステープルまたはラチェットである、請求項１に記載の心臓補綴具。
【請求項８】
前記チューブ内に内部に配置された引きひもをさらに備える、請求項２に記載の心臓補綴具。

【請求項９】
２つのフォーク状プロングに取り付けられたハンドルを備える三角－乳頭サイジングデバイスであって：
該２つのフォーク状プロングが、近位部分、および各々が等価な長さを有する２つの遠位端を有し、ここで該近位部分が該２つのプロングを連結し、ここで該２つの遠位端が丸められ、そしてここで該２つのプロング間の距離と該２つのプロングの長さが等しく、該距離が三角間距離に等しい、三角－乳頭サイジングデバイス。
【請求項１０】
前記２つのプロングが、単一の平面状単位構造を形成する、請求項９に記載の三角－乳頭サイジングデバイス。
【請求項１１】
前記単一の平面状単位構造が、平面から外に湾曲する、請求項１０に記載の三角－乳頭サイジングデバイス。
【請求項１２】
前記装置が、透明材料から形成される、請求項９に記載の三角－乳頭サイジングデバイス。
【請求項１３】
梱包された医療デバイスであって：
第１の端部および第２の端部を備える半円形のバンド部分を備え、小柱を通る挿入に適切な内部乳頭形成術心臓補綴具であって：
該第１の端部がテザーの第１の部分を含み；
該第２の端部が該テザーの第２の部分を含み、ここで、該テザーの第１の部分および第２の部分が互いに固定されて、調節可能な半円形のバンドを提供する心臓補綴具；
該半円形バンドを乳頭筋に連結する１つ以上の連結部材；および
該心臓補綴具を、乳頭筋、僧帽弁の輪または三尖弁の輪の周りに位置決めするための指示書、を備える、梱包された医療デバイス。